

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成26年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

3 その他

（1）本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」は「1～3月期（末）」、「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」は「4～6月期（末）」、「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」は「7～9月期（末）」、「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」は「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「-」…該当がないもの 「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」…マイナス（比較減）

「X」…数値が秘匿されているもの

（2）業種分類、採用品目数等

「神奈川県工業生産指数について」（P83～P92）を参照してください。

神奈川県工業生産の動向

1 概要 - 生産指数は前年比 2.4%と4年連続して低下 -

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、88.3 で前年比 2.4%低下し、4年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、1期は前期比 4.6%上昇し2期ぶりに上昇、2期は同 8.8%低下、3期も同 1.9%低下、4期は同 2.6%上昇しました。

< 全国及び局管内の動き >

全国の製造工業指数（原指数）は、99.0 で前年比 2.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、1期は前期比 2.3%上昇し5期連続して上昇、2期は同 3.0%低下、3期も同 1.4%低下、4期は同 0.8%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、95.5 で前年比 1.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、1期は前期比 2.7%上昇し4期連続して上昇、2期は同 4.3%低下、3期も同 1.2%低下、4期は同 1.3%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、87.7 で前年比 2.7%低下し、4年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、1期は前期比 3.9%上昇し2期ぶりに上昇、2期は同 7.9%低下、3期も同 2.7%低下、4期は同 3.1%上昇しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、89.7 で前年末比 2.7%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、1期は前期末比 4.8%上昇し3期ぶりに上昇、2期は同 3.1%低下、3期も同 2.9%低下、4期は同 0.0%で横ばいとなりました。

年間の動き

以上のように、生産・出荷指数（季節調整済指数）は、1期、2期は上昇、3期、4期は低下しました。在庫指数（同）の前期末比では、1期は上昇、2期、3期は低下、4期は横ばいとなりました。

また、生産・出荷指数（原指数）の前年同期比では、1期を除いて各期とも低下しました。在庫指数（同）の前年同期末比は、1期を除いて各期とも低下しました。

県内の工業生産は4年連続して低下し、平成26年は化学工業や輸送機械工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産は、1期は5期連続して上昇しましたが、2期、3期は低下、4期は上昇しました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

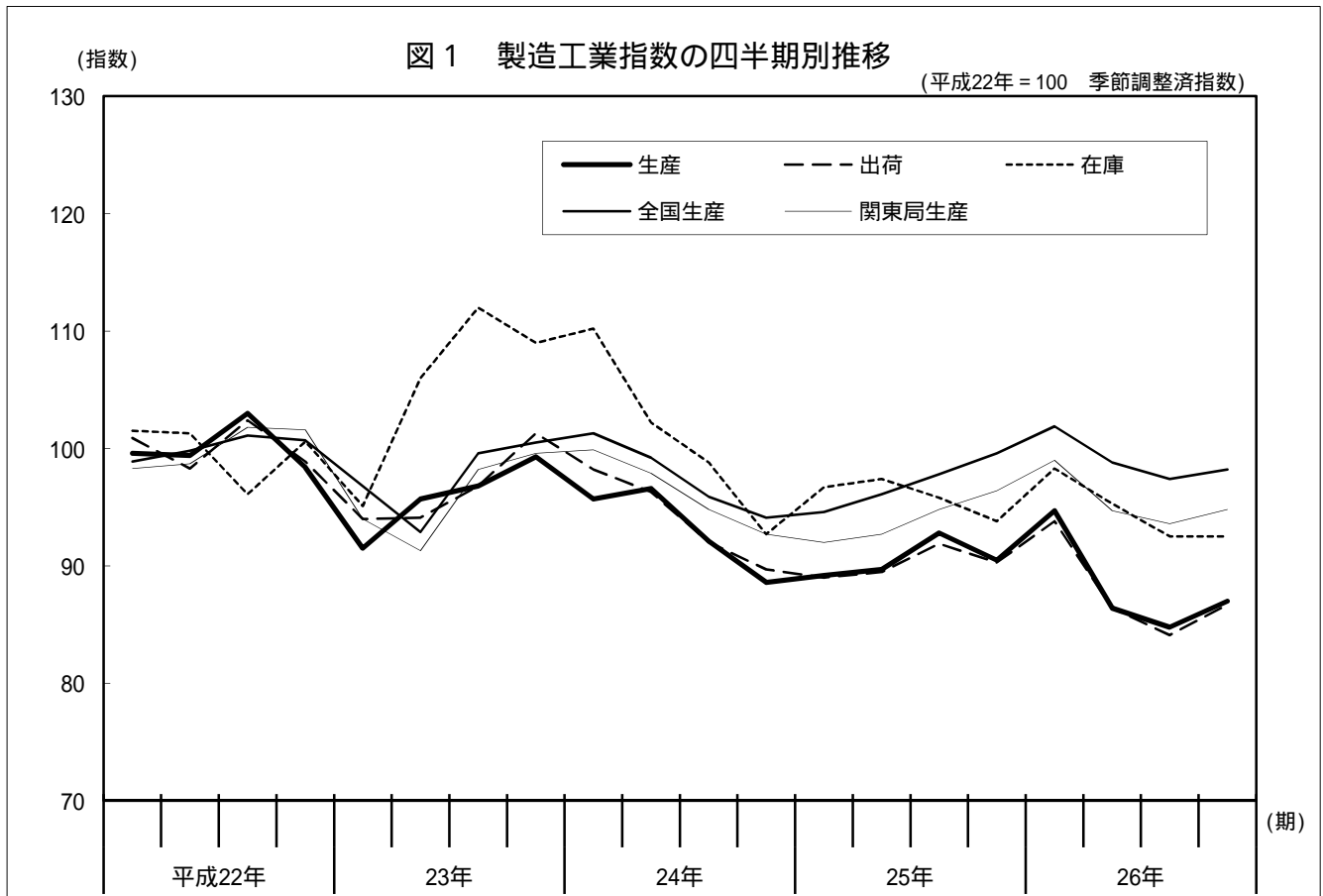


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成22年 = 100)

		平成22年	23年	24年	25年	26年	26年			
神奈川県	指数	100.0	95.3	93.6	90.5	88.3	94.7	86.4	84.8	87.0
	生産									
	対前年(期)増減率%	12.5	4.7	1.8	3.3	2.4	4.6	8.8	1.9	2.6
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	7.3	3.9	8.9	4.3
出荷	指数	100.0	96.0	94.5	90.1	87.7	93.8	86.4	84.1	86.7
	対前年(期)増減率%	11.7	4.0	1.6	4.7	2.7	3.9	7.9	2.7	3.1
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	6.9	4.2	8.8	4.0
在庫	指数	100.8	108.8	92.4	92.2	89.7	98.3	95.3	92.5	92.5
	対前年(期)末増減率%	0.5	7.9	15.1	0.2	2.7	4.8	3.1	2.9	0.0
	対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	2.5	1.5	3.8	2.7
全国	指数	100.0	97.2	97.8	97.0	99.0	101.9	98.8	97.4	98.2
	生産									
	対前年(期)増減率%	15.6	2.8	0.6	0.8	2.1	2.3	3.0	1.4	0.8
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	8.3	2.7	0.8	1.4
関東経済産業局管内	指数	100.0	95.4	96.6	94.0	95.5	99.0	94.7	93.6	94.8
	生産									
	対前年(期)増減率%	16.7	4.6	1.3	2.7	1.6	2.7	4.3	1.2	1.3
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	8.2	1.6	1.5	1.6

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

< 生産 >

業種別にみると、化粧品や医薬品などが減少した化学工業（前年比 5.5% 低下）や、エンジン（自動車用）などが減少した輸送機械工業（同 2.9% 低下）など 13 業種が低下しました。

また、半導体製造装置などが増加したはん用・生産用・業務用機械工業（前年比 8.4% 上昇）など 5 業種が上昇しました。

< 出荷 >

業種別にみると、ガソリンやC重油などが減少した石油・石炭製品工業（前年比 6.6% 低下）や、パラキシレンなどが減少した化学工業（同 5.6% 低下）など 14 業種が低下しました。

また、半導体製造装置などが増加したはん用・生産用・業務用機械工業（前年比 4.5% 上昇）など 4 業種が上昇しました。

< 在庫 >

業種別にみると、灯油や軽油などが減少した石油・石炭製品工業（前年末比 7.4% 低下）やプラスチック製容器などが減少したプラスチック製品工業（同 28.8% 低下）など 11 業種が低下しました。

また、普通トラックなどが増加した輸送機械工業（前年末比 13.7% 上昇）など 5 業種が上昇しました。

（ P 3 図 2、 P 4 表 2、 P 5 表 3 参照 ）

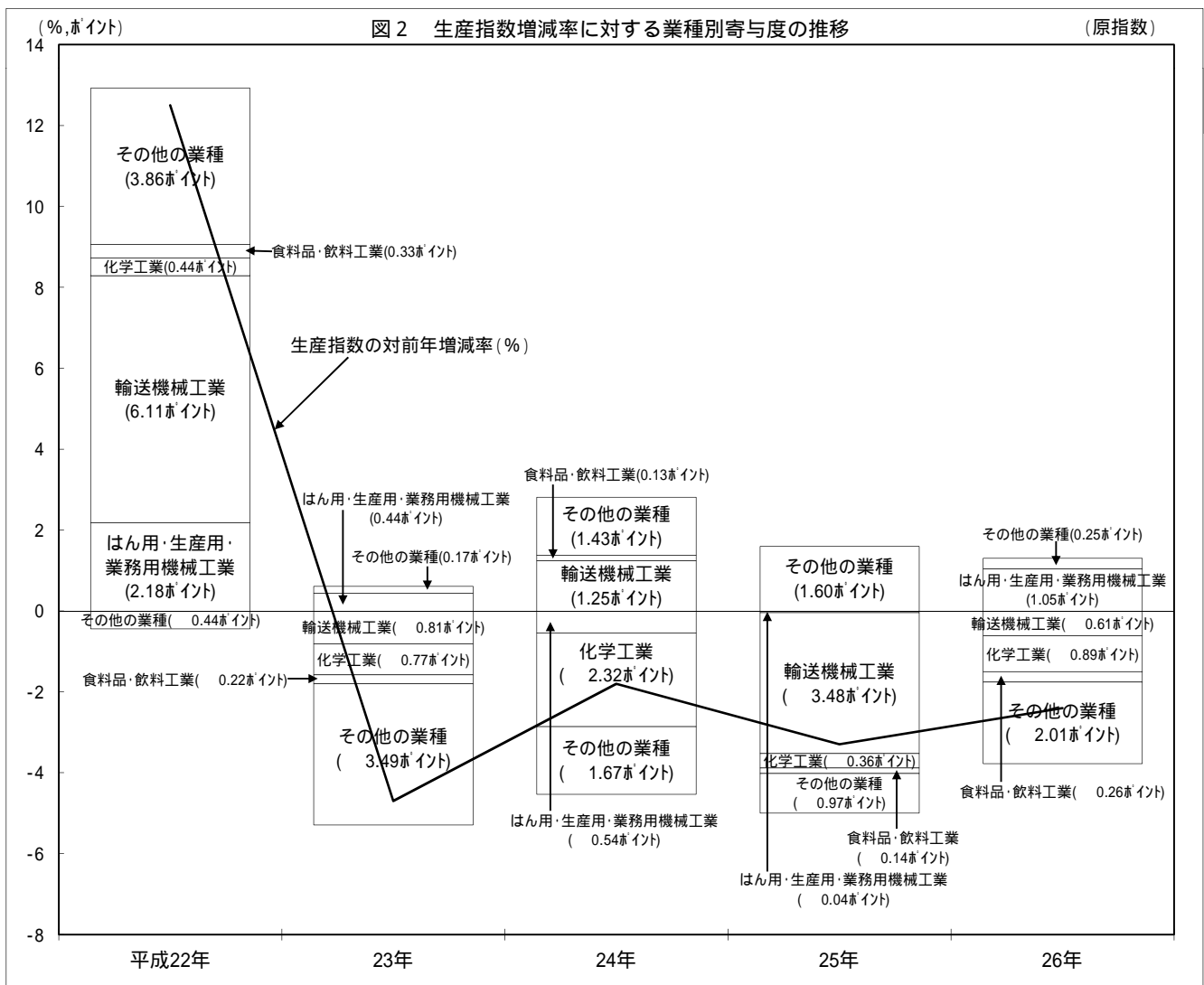


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 88.3 対前年増減率 2.4% 上昇5業種、低下13業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	はん用・生産用・業務用機械工業	8.4	1.05	増	半導体製造装置、マシニングセンタ、ダイカストマシンなど
				減	蒸気タービン部品、ろ過・分離機器、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など
低	化学工業	5.5	0.89	増	合成洗剤、酸化エチレン、合成樹脂塗料など
				減	化粧品、医薬品、パラキシレンなど
	輸送機械工業	2.9	0.61	増	普通トラック、特装ボデー、懸架制動装置部品など
				減	エンジン(自動車用)、小型乗用車、機体部品・付属装置など
石油・石炭製品工業	6.3	0.51	増	精製及び混合原料油、ジェット燃料油、潤滑油など	
			減	ガソリン、軽油、A重油など	
プラスチック製品工業	11.2	0.49	増	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製容器、プラスチック製板など	
			減	プラスチック製フィルム・シート、日用品・雑貨プラスチック製品、ディスクレコード	
下	窯業・土石製品工業	11.0	0.40	増	ガラス製容器類、複層ガラス、ファインセラミックスなど
				減	理化学・医学用ガラス、ガラス基礎製品、生コンクリートなど
	食料品・飲料工業	2.7	0.26	増	ビール・発泡酒、食パン、冷凍調理食品など
				減	炭酸飲料、チーズ、発酵乳など

(2) 出荷 年指数 87.7 対前年増減率 2.7% 上昇4業種、低下14業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	はん用・生産用・業務用機械工業	4.5	0.53	増	半導体製造装置、装軌式トラクタ、マシニングセンタなど
				減	ろ過・分離機器、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、蒸気タービン部品など
鉄鋼業	6.5	0.28	増	普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼鋼管など	
			減	普通鋼鋼管、普通鋼冷間仕上鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材など	
低	石油・石炭製品工業	6.6	1.17	増	ジェット燃料油、精製及び混合原料油、液化石油ガスなど
				減	ガソリン、C重油、軽油など
化学工業	5.6	0.73	増	メタクリル酸エステル、酸化エチレン、オルソキシレンなど	
			減	パラキシレン、化粧品、医薬品など	
輸送機械工業	3.1	0.72	増	普通トラック、懸架制動装置部品、特装ボデーなど	
			減	エンジン(自動車用)、小型乗用車、機体部品・付属装置など	
下	窯業・土石製品工業	11.9	0.26	増	ガラス製容器類、ファインセラミックス、触媒担体・セラミックフィルタなど
				減	ガラス基礎製品、生コンクリート、理化学・医学用ガラスなど
食料品・飲料工業	1.0	0.08	増	ビール・発泡酒、冷凍調理食品、果実酒など	
			減	炭酸飲料、チーズ、発酵乳など	

(3) 在庫 年指数 89.7 対前年末増減率 2.7% 上昇5業種、低下11業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	輸送機械工業	13.7	1.42	増	普通トラック、小型バス、小型トラック
				減	大型バス、けん引車、普通乗用車など
はん用・生産用・業務用機械工業	6.5	0.57	増	積算体積計、掘さく機械、工業用計重機など	
			減	軸受、精密測定機、装軌式トラクタなど	
食料品・飲料工業	5.1	0.25	増	ビール・発泡酒、チョコレート、混合植物油脂など	
			減	果実酒、ビスケット類、小麦粉など	
低	石油・石炭製品工業	7.4	1.06	増	C重油、コークス、液化石油ガス
				減	灯油、軽油、ジェット燃料油など
プラスチック製品工業	28.8	1.06	増	発泡プラスチック製品、プラスチック製板、日用品・雑貨プラスチック製品	
			減	プラスチック製容器、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製機械器具部品	
下	化学工業	3.7	0.89	増	写真フィルム、パラキシレン、界面活性剤など
				減	アクリロニトリル、純ベンゼン、合成ゴムなど
鉄鋼業	4.4	0.67	増	特殊鋼鋼管、普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材など	
			減	普通鋼鋼帯、普通鋼鋼管、普通鋼棒鋼など	

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成22年 = 100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		2 3年	2 4年	2 5年	2 6年	2 3年	2 4年	2 5年	2 6年	2 3年	2 4年	2 5年	2 6年	2 3年	2 4年	2 5年	2 6年
製造工業	指 数	95.3	93.6	90.5	88.3	96.0	94.5	90.1	87.7	108.8	92.4	92.2	89.7	106.7	104.8	101.0	104.0
	対前年増減率%	4.7	1.8	3.3	2.4	4.0	1.6	4.7	2.7	7.9	15.1	0.2	2.7	6.7	1.8	3.6	3.0
鉄鋼業	指 数	94.6	87.0	89.9	94.4	96.9	88.8	90.6	96.5	92.1	91.7	103.8	99.2	108.4	100.1	104.0	107.9
	対前年増減率%	5.4	8.0	3.3	5.0	3.1	8.4	2.0	6.5	13.6	0.4	13.2	4.4	8.4	7.7	3.9	3.8
非鉄金属工業	指 数	93.0	100.6	95.5	104.4	93.1	99.6	95.7	105.1	119.3	131.5	135.0	133.6	115.0	123.4	127.3	120.4
	対前年増減率%	7.0	8.2	5.1	9.3	6.9	7.0	3.9	9.8	7.2	10.2	2.7	1.0	15.0	7.3	3.2	5.4
金属製品工業	指 数	99.2	102.3	97.0	92.4	99.0	99.2	93.3	89.6	117.7	111.0	115.6	107.2	128.5	120.4	135.0	143.8
	対前年増減率%	0.8	3.1	5.2	4.7	1.0	0.2	5.9	4.0	16.0	5.7	4.1	7.3	28.5	6.3	12.1	6.5
はん用・生産用・業務用機械工業	指 数	103.8	99.3	99.0	107.3	103.2	100.6	98.5	102.9	125.3	81.3	78.5	83.6	91.6	81.9	77.7	72.9
	対前年増減率%	3.8	4.3	0.3	8.4	3.2	2.5	2.1	4.5	25.0	35.1	3.4	6.5	8.4	10.6	5.1	6.2
電子部品・デバイス工業	指 数	82.9	79.3	75.5	71.3	82.8	80.5	76.2	70.3	214.9	152.5	3.7	1.6	180.6	173.8	131.6	4.1
	対前年増減率%	17.1	4.3	4.8	5.6	17.2	2.8	5.3	7.7	59.5	29.0	97.6	56.8	80.6	3.8	24.3	96.9
電気機械工業	指 数	84.6	86.5	89.6	88.4	86.7	84.6	88.2	85.9	38.3	53.9	58.1	63.5	60.2	52.0	62.7	78.0
	対前年増減率%	15.4	2.2	3.6	1.3	13.3	2.4	4.3	2.6	51.0	40.7	7.8	9.3	39.8	13.6	20.6	24.4
情報通信機械工業	指 数	79.6	92.1	99.6	97.3	81.8	95.7	99.5	99.0	191.7	70.4	109.1	117.3	159.1	89.6	41.5	194.3
	対前年増減率%	20.4	15.7	8.1	2.3	18.2	17.0	4.0	0.5	24.4	63.3	55.0	7.5	59.1	43.7	53.7	368.2
輸送機械工業	指 数	96.3	101.7	86.9	84.4	96.0	100.9	83.5	80.9	125.2	80.2	70.6	80.3	115.3	95.8	88.8	80.7
	対前年増減率%	3.7	5.6	14.6	2.9	4.0	5.1	17.2	3.1	34.9	35.9	12.0	13.7	15.3	16.9	7.3	9.1
窯業・土石製品工業	指 数	98.3	100.2	97.2	86.5	96.4	96.9	89.2	78.6	94.5	88.1	80.0	70.0	104.8	95.7	104.1	96.3
	対前年増減率%	1.7	1.9	3.0	11.0	3.6	0.5	7.9	11.9	1.3	6.8	9.2	12.5	4.8	8.7	8.8	7.5
化学工業	指 数	95.7	83.4	81.5	77.0	94.8	87.0	86.1	81.3	120.4	108.8	109.4	105.4	112.5	128.1	117.9	124.4
	対前年増減率%	4.3	12.9	2.3	5.5	5.2	8.2	1.0	5.6	16.6	9.6	0.6	3.7	12.5	13.9	8.0	5.5
石油・石炭製品工業	指 数	97.1	84.5	93.6	87.7	99.2	89.7	95.0	88.7	90.4	83.5	77.4	71.7	95.3	106.2	94.2	100.7
	対前年増減率%	2.9	13.0	10.8	6.3	0.8	9.6	5.9	6.6	8.3	7.6	7.3	7.4	4.7	11.4	11.3	6.9
プラスチック製品工業	指 数	95.6	88.7	79.6	70.7	94.7	86.8	76.6	70.7	104.4	91.9	96.1	68.4	115.6	110.1	112.2	107.6
	対前年増減率%	4.4	7.2	10.3	11.2	5.3	8.3	11.8	7.7	4.1	12.0	4.6	28.8	15.6	4.8	1.9	4.1
紙・紙加工品工業	指 数	101.1	106.1	109.6	112.0	99.9	105.4	107.5	107.3	89.5	77.8	86.0	71.0	107.0	86.9	85.7	74.7
	対前年増減率%	1.1	4.9	3.3	2.2	0.1	5.5	2.0	0.2	6.3	13.1	10.5	17.4	7.0	18.8	1.4	12.8
繊維工業	指 数	103.4	98.5	92.0	82.6	105.4	100.6	90.8	75.0	151.5	85.0	74.4	73.3	104.2	87.6	89.1	99.6
	対前年増減率%	3.4	4.7	6.6	10.2	5.4	4.6	9.7	17.4	2.4	43.9	12.5	1.5	4.2	15.9	1.7	11.8
食料品・飲料工業	指 数	97.6	99.0	97.6	95.0	98.8	99.0	97.0	96.0	100.0	99.1	103.0	108.3	99.0	92.2	94.3	101.8
	対前年増減率%	2.4	1.4	1.4	2.7	1.2	0.2	2.0	1.0	2.8	0.9	3.9	5.1	1.0	6.9	2.3	8.0
その他工業	指 数	105.9	108.9	109.5	106.3	102.3	106.1	105.5	104.2	97.4	100.6	116.4	92.2	112.6	106.0	119.4	111.0
	対前年増減率%	5.9	2.8	0.6	2.9	2.3	3.7	0.6	1.2	3.2	3.3	15.7	20.8	12.6	5.9	12.6	7.0
ゴム製品工業	指 数	95.1	99.3	99.0	94.7	95.7	101.2	100.1	98.9	97.4	100.6	116.4	92.2	112.6	106.0	119.4	111.0
	対前年増減率%	4.9	4.4	0.3	4.3	4.3	5.7	1.1	1.2	3.2	3.3	15.7	20.8	12.6	5.9	12.6	7.0
家具工業	指 数	100.9	100.9	96.6	99.0	99.9	100.4	96.5	98.8								
	対前年増減率%	0.9	0.0	4.3	2.5	0.1	0.5	3.9	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	115.8	118.4	120.9	117.3	115.8	118.5	120.9	117.3								
	対前年増減率%	15.8	2.2	2.1	3.0	15.8	2.3	2.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 公益事業	指 数	100.0	115.3	112.6	110.1	92.0	95.2	91.7	90.1								
	対前年増減率%	0.0	15.3	2.3	2.2	8.0	3.5	3.7	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機械工業	指 数	93.6	96.9	91.4	91.4	94.5	97.9	88.7	87.8	122.5	78.8	73.9	81.4	104.7	87.7	81.1	81.8
	対前年増減率%	6.4	3.5	5.7	0.0	5.5	3.6	9.4	1.0	25.8	35.7	6.2	10.1	4.7	16.2	7.5	0.9

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

表 4

平成26年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成22年 = 100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%
製造工業	指 数	94.7	86.4	84.8	87.0	93.8	86.4	84.1	86.7	98.3	95.3	92.5	92.5	100.4	103.9	109.4	101.9
	対前期増減率%	4.6	8.8	1.9	2.6	3.9	7.9	2.7	3.1	4.8	3.1	2.9	0.0	3.3	3.5	5.3	6.9
鉄鋼業	指 数	100.2	93.8	93.5	91.2	97.1	98.9	95.8	94.1	114.3	106.3	103.1	100.4	108.1	104.0	111.3	107.7
	対前期増減率%	4.0	6.4	0.3	2.5	1.8	1.9	3.1	1.8	9.8	7.0	3.0	2.6	7.3	3.8	7.0	3.2
非鉄金属工業	指 数	107.2	101.2	103.3	106.7	107.8	102.6	103.2	107.8	120.6	125.2	126.5	124.4	116.2	118.1	125.7	121.4
	対前期増減率%	9.1	5.6	2.1	3.3	9.4	4.8	0.6	4.5	4.8	3.8	1.0	1.7	6.6	1.6	6.4	3.4
金属製品工業	指 数	97.7	93.6	90.6	88.1	95.5	91.3	85.6	86.5	122.9	113.3	110.9	110.1	136.5	135.3	154.5	147.2
	対前期増減率%	1.2	4.2	3.2	2.8	3.1	4.4	6.2	1.1	4.7	7.8	2.1	0.7	9.1	0.9	14.2	4.7
はん用・生産用・業務用機械工業	指 数	120.0	102.0	98.9	108.6	114.0	97.6	96.8	103.3	80.5	86.1	77.0	81.4	68.8	75.9	75.6	70.8
	対前期増減率%	21.1	15.0	3.0	9.8	14.0	14.4	0.8	6.7	6.9	7.0	10.6	5.7	0.1	10.3	0.4	6.3
電子部品・デバイス工業	指 数	72.7	72.1	65.3	76.3	72.5	72.6	63.5	74.4	5.7	3.7	3.1	3.2	4.7	4.0	4.0	3.9
	対前期増減率%	1.7	0.8	9.4	16.8	1.8	0.1	12.5	17.2	14.0	35.1	16.2	3.2	34.7	14.9	0.0	2.5
電気機械工業	指 数	98.2	80.1	87.5	83.4	94.8	79.5	84.0	82.6	57.1	60.0	61.8	62.3	65.5	73.7	82.6	89.8
	対前期増減率%	7.0	18.4	9.2	4.7	5.0	16.1	5.7	1.7	2.1	5.1	3.0	0.8	1.4	12.5	12.1	8.7
情報通信機械工業	指 数	100.9	96.5	95.7	89.7	102.2	100.4	96.2	92.6	100.0	112.4	122.7	97.0	98.4	212.6	291.3	132.7
	対前期増減率%	2.1	4.4	0.8	6.3	3.7	1.8	4.2	3.7	22.2	12.4	9.2	20.9	86.4	116.1	37.0	54.4
輸送機械工業	指 数	91.6	83.9	79.6	82.5	87.6	80.0	76.8	79.5	106.6	95.3	92.5	94.4	83.7	83.1	80.7	76.6
	対前期増減率%	3.0	8.4	5.1	3.6	1.9	8.7	4.0	3.5	35.3	10.6	2.9	2.1	6.4	0.7	2.9	5.1
窯業・土石製品工業	指 数	91.4	88.9	85.9	80.7	85.8	79.1	76.7	74.0	75.8	77.5	76.9	71.1	91.9	96.2	98.0	99.5
	対前期増減率%	5.2	2.7	3.4	6.1	0.6	7.8	3.0	3.5	7.2	2.2	0.8	7.5	11.7	4.7	1.9	1.5
化学工業	指 数	83.6	73.7	74.3	76.9	87.9	80.5	77.5	79.4	112.7	100.0	102.8	104.5	121.2	123.5	129.6	123.5
	対前期増減率%	2.2	11.8	0.8	3.5	0.7	8.4	3.7	2.5	3.6	11.3	2.8	1.7	10.5	1.9	4.9	4.7
石油・石炭製品工業	指 数	87.0	84.7	88.7	90.0	90.8	86.5	87.3	90.0	78.5	80.5	78.8	76.7	90.8	102.6	108.6	97.9
	対前期増減率%	1.9	2.6	4.7	1.5	1.2	4.7	0.9	3.1	4.3	2.5	2.1	2.7	4.5	13.0	5.8	9.9
プラスチック製品工業	指 数	72.8	74.4	68.8	66.8	72.6	74.0	69.2	66.9	84.9	81.8	75.3	67.8	114.4	104.9	107.9	102.2
	対前期増減率%	10.8	2.2	7.5	2.9	6.7	1.9	6.5	3.3	11.9	3.7	7.9	10.0	1.0	8.3	2.9	5.3
紙・紙加工品工業	指 数	116.8	110.7	110.4	110.3	114.6	103.8	105.3	105.6	70.5	89.0	86.3	82.3	64.4	76.9	75.2	79.9
	対前期増減率%	5.5	5.2	0.3	0.1	5.3	9.4	1.4	0.3	29.6	26.2	3.0	4.6	22.9	19.4	2.2	6.3
繊維工業	指 数	81.2	78.5	83.1	87.0	69.1	71.0	74.6	83.4	83.6	68.8	63.7	63.7	120.6	109.1	95.8	81.7
	対前期増減率%	4.6	3.3	5.9	4.7	12.6	2.7	5.1	11.8	39.8	17.7	7.4	0.0	58.1	9.5	12.2	14.7
食料品・飲料工業	指 数	99.1	93.6	92.7	95.7	99.3	94.2	93.9	97.4	106.7	119.0	116.7	112.8	99.0	108.9	102.2	97.4
	対前期増減率%	2.5	5.5	1.0	3.2	4.2	5.1	0.3	3.7	1.6	11.5	1.9	3.3	1.5	10.0	6.2	4.7
その他工業	指 数	108.3	105.9	104.6	106.1	102.7	102.4	104.2	106.4	110.0	110.5	97.6	99.6	112.8	110.2	105.7	114.2
	対前期増減率%	0.1	2.2	1.2	1.4	5.2	0.3	1.8	2.1	13.0	0.5	11.7	2.0	9.0	2.3	4.1	8.0
ゴム製品工業	指 数	94.3	96.1	92.2	95.9	98.1	97.4	98.0	100.1	110.0	110.5	97.6	99.6	112.8	110.2	105.7	114.2
	対前期増減率%	4.8	1.9	4.1	4.0	8.8	0.7	0.6	2.1	13.0	0.5	11.7	2.0	9.0	2.3	4.1	8.0
家具工業	指 数	87.3	96.7	96.9	116.4	85.0	96.4	97.4	119.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	9.0	10.8	0.2	20.1	11.2	13.4	1.0	22.3	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	124.3	116.8	116.4	112.1	124.7	116.5	116.4	112.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	5.2	6.0	0.3	3.7	5.2	6.6	0.1	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 公益事業	指 数	110.1	111.4	109.3	110.5	92.7	90.0	88.7	88.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	3.8	1.2	1.9	1.1	1.0	2.9	1.4	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機械工業	指 数	99.2	89.2	86.3	89.6	95.8	85.9	82.8	86.1	89.8	88.4	85.8	88.3	77.3	83.6	87.7	78.1
	対前期増減率%	8.2	10.1	3.3	3.8	6.8	10.3	3.6	4.0	16.3	1.6	2.9	2.9	6.0	8.2	4.9	10.9

* 生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

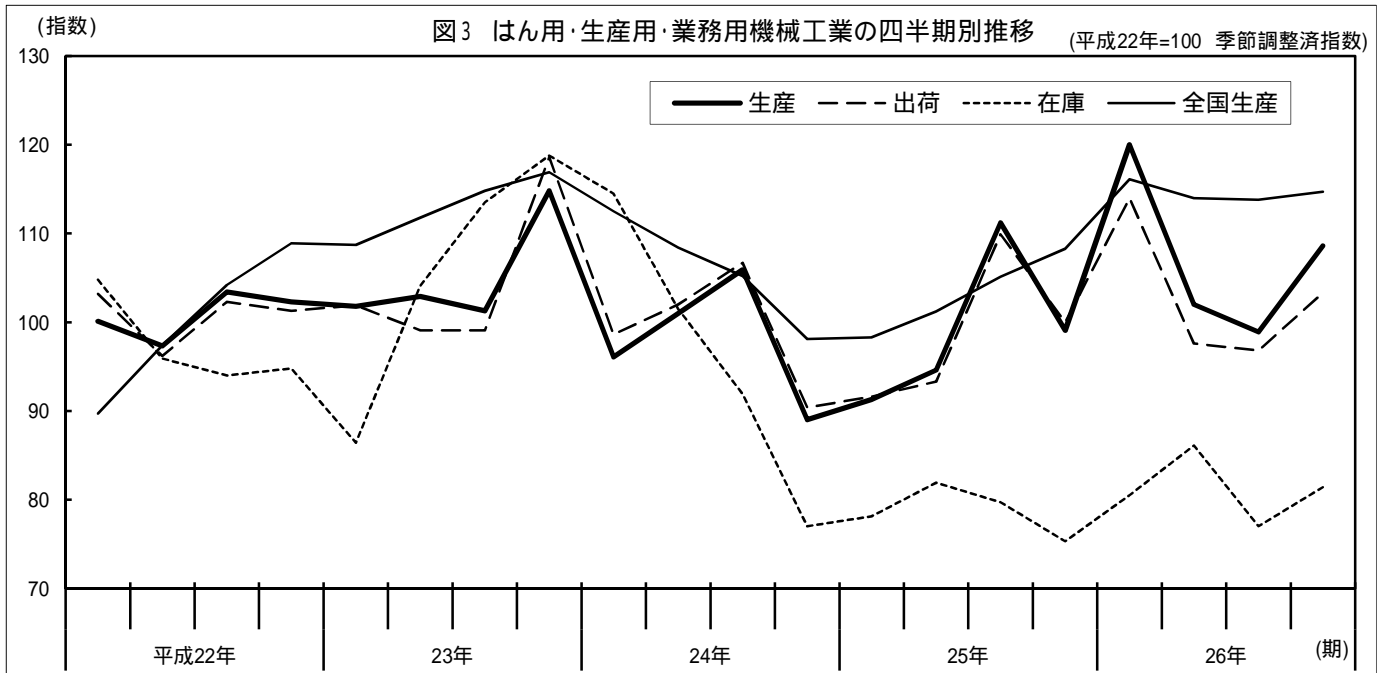
* 公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<はん用・生産用・業務用機械工業>

- 生産、出荷とも3年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、107.3で前年比8.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比21.1%上昇、期は同15.0%低下、期も同3.0%低下、期は同9.8%上昇しました。

品目別にみると、半導体製造装置やマシニングセンタなどが増加し、蒸気タービン部品などが減少しました。

また、全国のはん用・生産用・業務用機械工業の生産指数(原指数)は、114.6で前年比11.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、102.9で前年比4.5%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比14.0%上昇、期は同14.4%低下、期も同0.8%低下、期は同6.7%上昇しました。

品目別にみると、半導体製造装置や装軌式トラクタなどが増加し、ろ過・分離機器などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、83.6で前年末比6.5%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期末比6.9%上昇、期も同7.0%上昇、期は同10.6%低下、期は同5.7%上昇しました。

品目別にみると、積算体積計や掘さく機械などが増加し、軸受などが減少しました。

表5 はん用・生産用・業務用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

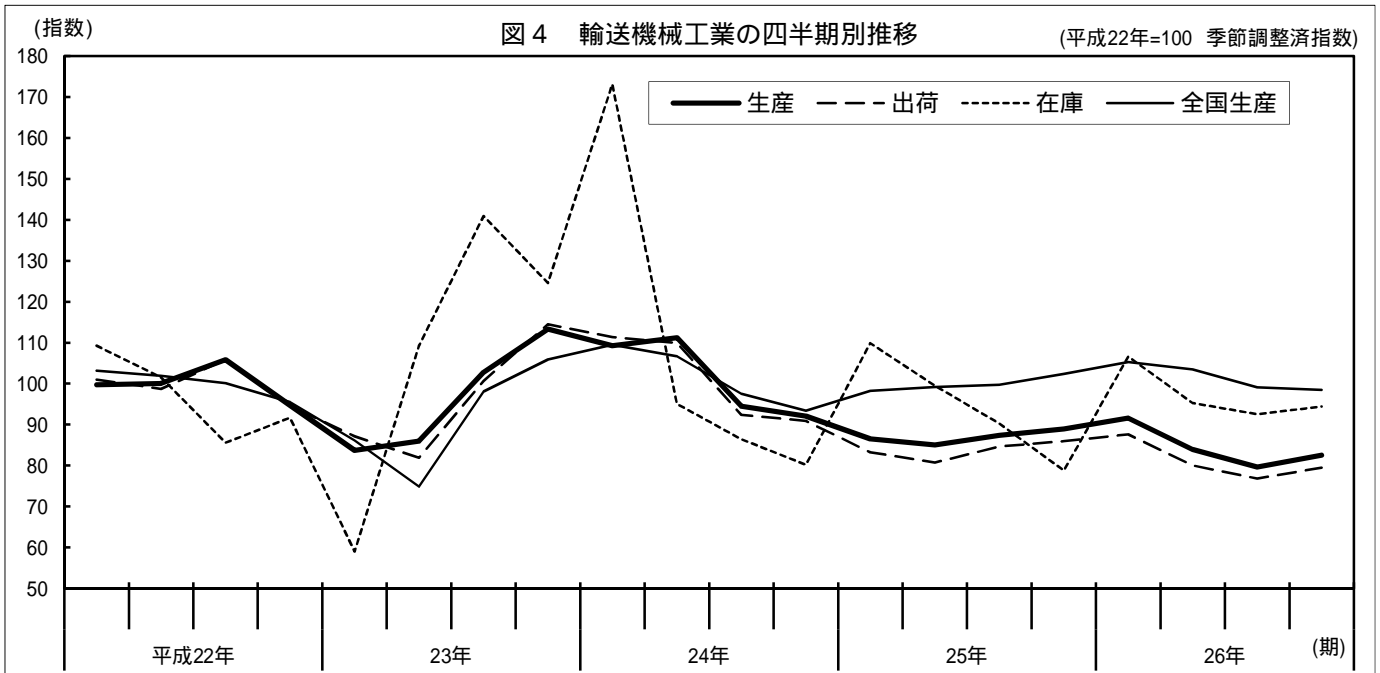
		平成25年	26年	上昇又は低下に寄与した品目			
生産	指数	99.0	107.3	120.0	102.0	98.9	108.6
	対前年(期)増減率%	0.3	8.4	21.1	15.0	3.0	9.8
出荷	指数	98.5	102.9	114.0	97.6	96.8	103.3
	対前年(期)増減率%	2.1	4.5	14.0	14.4	0.8	6.7
在庫	指数	78.5	83.6	80.5	86.1	77.0	81.4
	対前年(期)末増減率%	3.4	6.5	6.9	7.0	10.6	5.7

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 輸送機械工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、84.4で前年比2.9%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比3.0%上昇、2期は同8.4%低下、3期も同5.1%低下、4期は同3.6%上昇しました。
 品目別にみると、エンジン(自動車用)や小型乗用車などが減少し、普通トラックなどが増加しました。
 また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、101.6で前年比1.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、80.9で前年比3.1%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比1.9%上昇、2期は同8.7%低下、3期も同4.0%低下、4期は同3.5%上昇しました。
 品目別にみると、エンジン(自動車用)や小型乗用車などが減少し、普通トラックなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、80.3で前年末比13.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期末比35.3%上昇、2期は同10.6%低下、3期も同2.9%低下、4期は同2.1%上昇しました。
 品目別にみると、普通トラックや小型バスなどが増加し、大型バスなどが減少しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

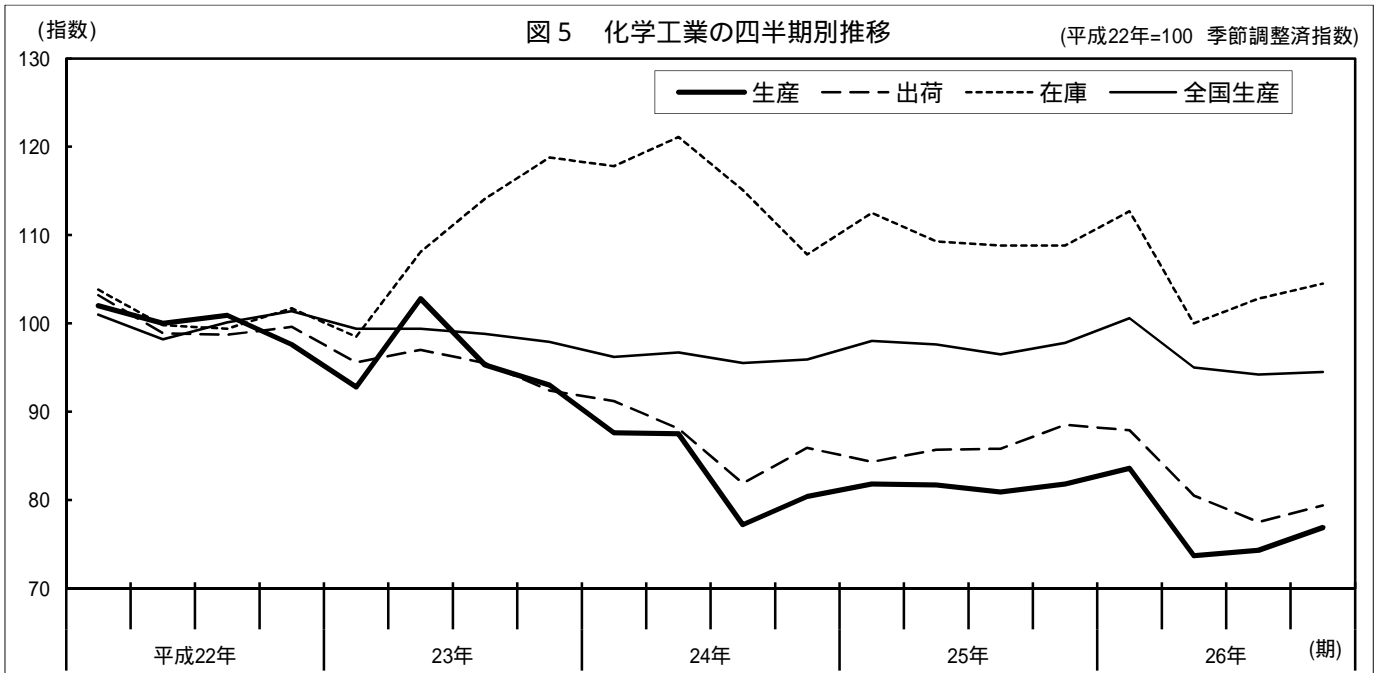
		平成25年							26年							上昇又は低下に寄与した品目
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			
生産	指数	86.9	84.4	91.6	83.9	79.6	82.5	86.9	84.4	91.6	83.9	79.6	82.5	増 普通トラック、特装ボデーなど 減 エンジン(自動車用)、小型乗用車、機体部品・付属装置など		
	対前年(期)増減率%	14.6	2.9	3.0	8.4	5.1	3.6	14.6	2.9	3.0	8.4	5.1	3.6			
出荷	指数	83.5	80.9	87.6	80.0	76.8	79.5	83.5	80.9	87.6	80.0	76.8	79.5	増 普通トラック、懸架制動装置部品など 減 エンジン(自動車用)、小型乗用車、機体部品・付属装置など		
	対前年(期)増減率%	17.2	3.1	1.9	8.7	4.0	3.5	17.2	3.1	1.9	8.7	4.0	3.5			
在庫	指数	70.6	80.3	106.6	95.3	92.5	94.4	70.6	80.3	106.6	95.3	92.5	94.4	増 普通トラック、小型バス、小型トラック 減 大型バス、けん引車など		
	対前年(期)末増減率%	12.0	13.7	35.3	10.6	2.9	2.1	12.0	13.7	35.3	10.6	2.9	2.1			

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 化学工業 >

- 生産、出荷とも4年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、77.0で前年比5.5%低下し、4年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比2.2%上昇、2期は同11.8%低下、3期は同0.8%上昇、4期も同3.5%上昇しました。
 品目別にみると、化粧品や医薬品などが減少し、合成洗剤などが増加しました。
 また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、96.0で前年比1.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、81.3で前年比5.6%低下し、4年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比0.7%低下、2期も同8.4%低下、3期も同3.7%低下、4期は同2.5%上昇しました。
 品目別にみると、パラキシレンや化粧品などが減少し、メタクリル酸エステルなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、105.4で前年比3.7%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期末比3.6%上昇、2期は同11.3%低下、3期は同2.8%上昇、4期も同1.7%上昇しました。
 品目別にみると、アクリロニトリルや純ベンゼンなどが減少し、写真フィルムなどが増加しました。

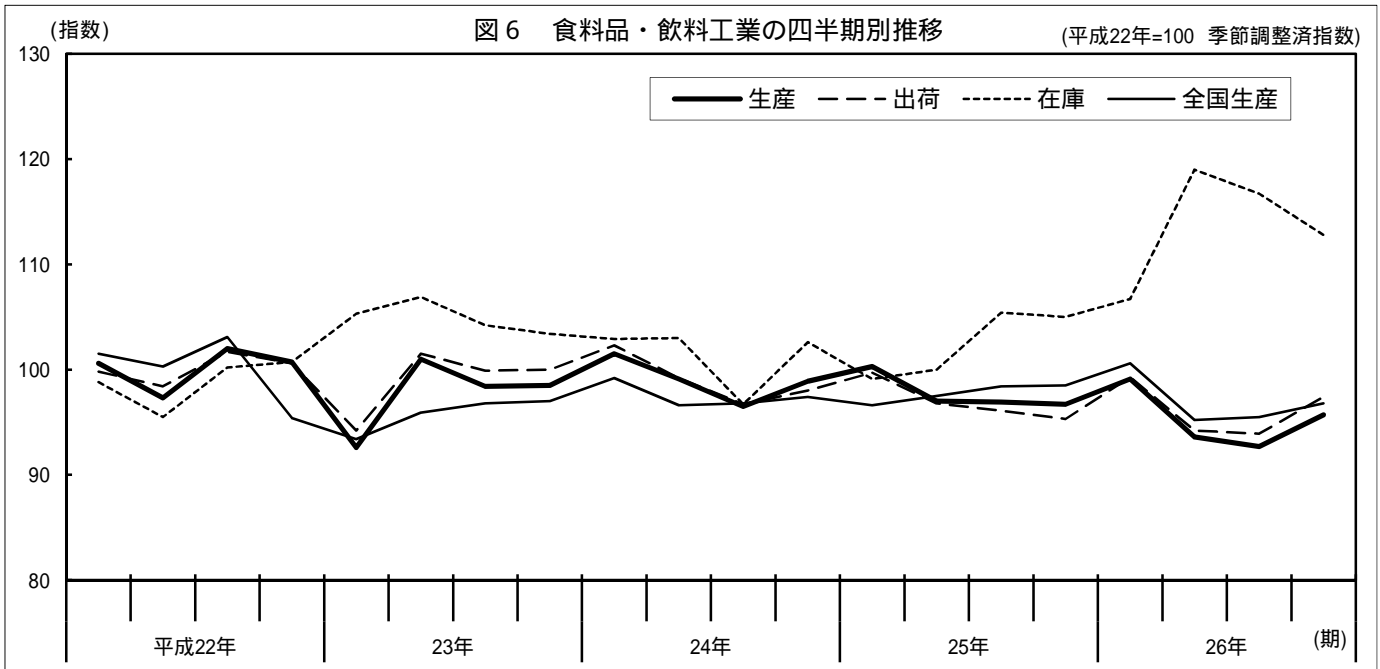
表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		化学工業指数の年別・四半期別推移							上昇又は低下に寄与した品目	
		平成25年	26年							
生産	指数	81.5	77.0	83.6	73.7	74.3	76.9	増 減	合成洗剤、酸化エチレンなど 化粧品、医薬品、パラキシレンなど	
	対前年(期)増減率%	2.3	5.5	2.2	11.8	0.8	3.5			
出荷	指数	86.1	81.3	87.9	80.5	77.5	79.4	増 減	メタクリル酸エステル、酸化エチレンなど パラキシレン、化粧品、医薬品など	
	対前年(期)増減率%	1.0	5.6	0.7	8.4	3.7	2.5			
在庫	指数	109.4	105.4	112.7	100.0	102.8	104.5	増 減	写真フィルム、パラキシレンなど アクリロニトリル、純ベンゼン、合成ゴムなど	
	対前年(期)末増減率%	0.6	3.7	3.6	11.3	2.8	1.7			

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数
 * 品目順は寄与度順に列記

< 食料品・飲料工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、95.0で前年比2.7%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比2.5%上昇、2期は同5.5%低下、3期も同1.0%低下、4期は同3.2%上昇しました。
 品目別にみると、炭酸飲料やチーズなどが減少し、ビール・発泡酒などが増加しました。
 また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、96.8で前年比1.0%低下し、3年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、96.0で前年比1.0%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比4.2%上昇、2期は同5.1%低下、3期も同0.3%低下、4期は同3.7%上昇しました。
 品目別にみると、炭酸飲料やチーズなどが減少し、ビール・発泡酒などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、108.3で前年末比5.1%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期末比1.6%上昇、2期も同11.5%上昇、3期は同1.9%低下、4期も同3.3%低下しました。
 品目別にみると、ビール・発泡酒やチョコレートなどが増加し、果実酒などが減少しました。

表8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

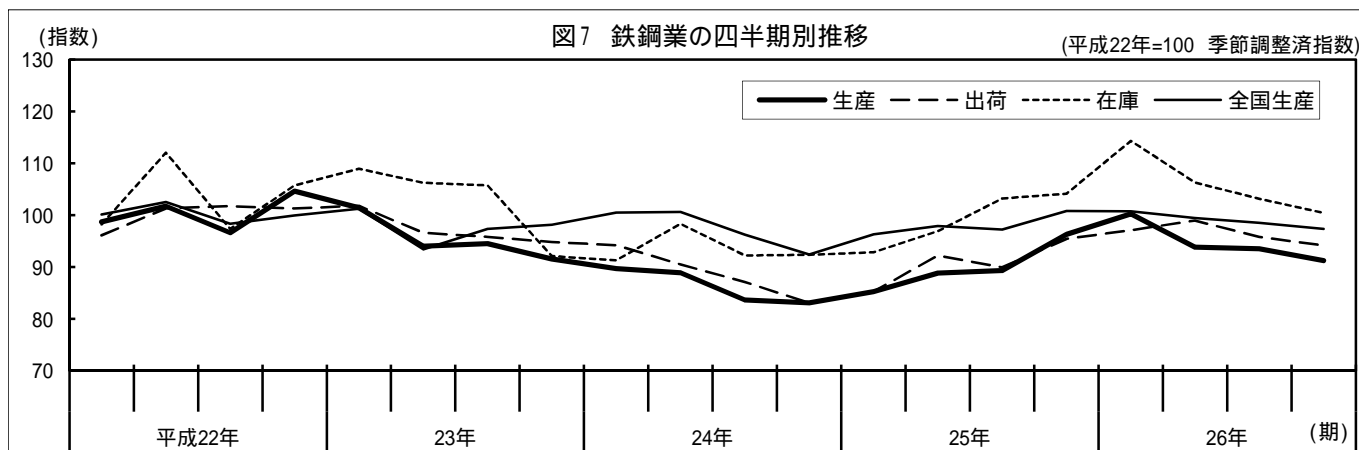
		平成25年							26年							
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			
生産	指数	97.6	95.0	99.1	93.6	92.7	95.7	上昇又は低下に寄与した品目								
	対前年(期)増減率%	1.4	2.7	2.5	5.5	1.0	3.2	増	ビール・発泡酒、食パンなど	減	炭酸飲料、チーズ、発酵乳など					
出荷	指数	97.0	96.0	99.3	94.2	93.9	97.4	増	ビール・発泡酒、冷凍調理食品など	減	炭酸飲料、チーズ、発酵乳など					
	対前年(期)増減率%	2.0	1.0	4.2	5.1	0.3	3.7	増	ビール・発泡酒、チョコレート、混合植物油脂など	減	果実酒、ビスケット類など					
在庫	指数	103.0	108.3	106.7	119.0	116.7	112.8									
	対前年(期)末増減率%	3.9	5.1	1.6	11.5	1.9	3.3									

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数
 * 品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

< 鉄鋼業 >

- 生産、出荷とも2年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、94.4で前年比5.0%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、普通鋼鋼板や特殊鋼熱間圧延鋼材などが増加し、普通鋼鋼帯などが減少しました。
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、98.9で前年比1.0%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

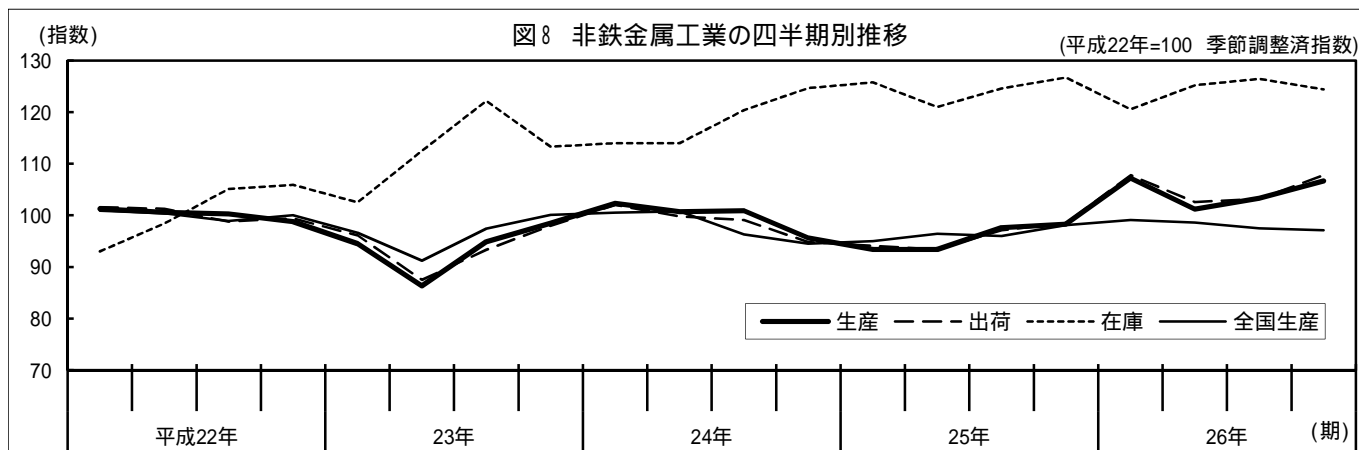
出荷指数(原指数)は、96.5で前年比6.5%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、普通鋼鋼板や特殊鋼熱間圧延鋼材などが増加し、普通鋼鋼管などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、99.2で前年末比4.4%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、普通鋼鋼帯や普通鋼鋼管などが減少し、特殊鋼鋼管などが増加しました。

< 非鉄金属工業 >

- 生産、出荷とも2年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、104.4で前年比9.3%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや伸銅製品などが増加し、軽合金鋳物などが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、98.1で前年比1.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

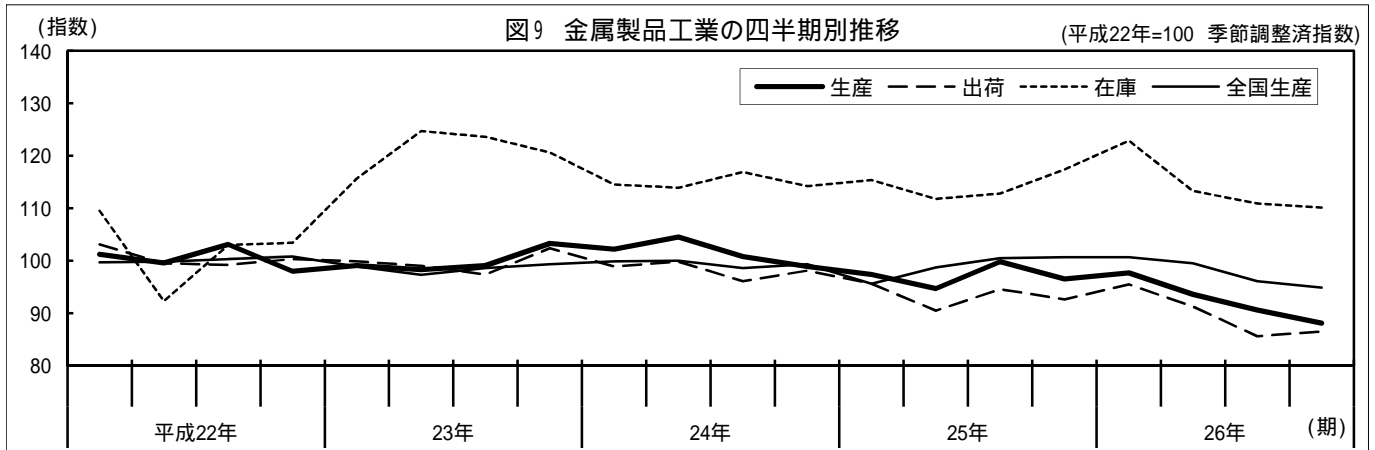
出荷指数(原指数)は、105.1で前年比9.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや伸銅製品などが増加し、軽合金鋳物が減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、133.6で前年末比1.0%低下し、5年ぶりに低下しました。
品目別にみると、伸銅製品や光ファイバなどが減少し、銅電線が増加しました。

< 金属製品工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、92.4で前年比4.7%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、食缶やガス機器などが減少し、ばねなどが増加しました。

また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、97.7で前年比1.2%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、89.6で前年比4.0%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、食缶やガス機器などが減少し、飲料用アルミ缶などが増加しました。

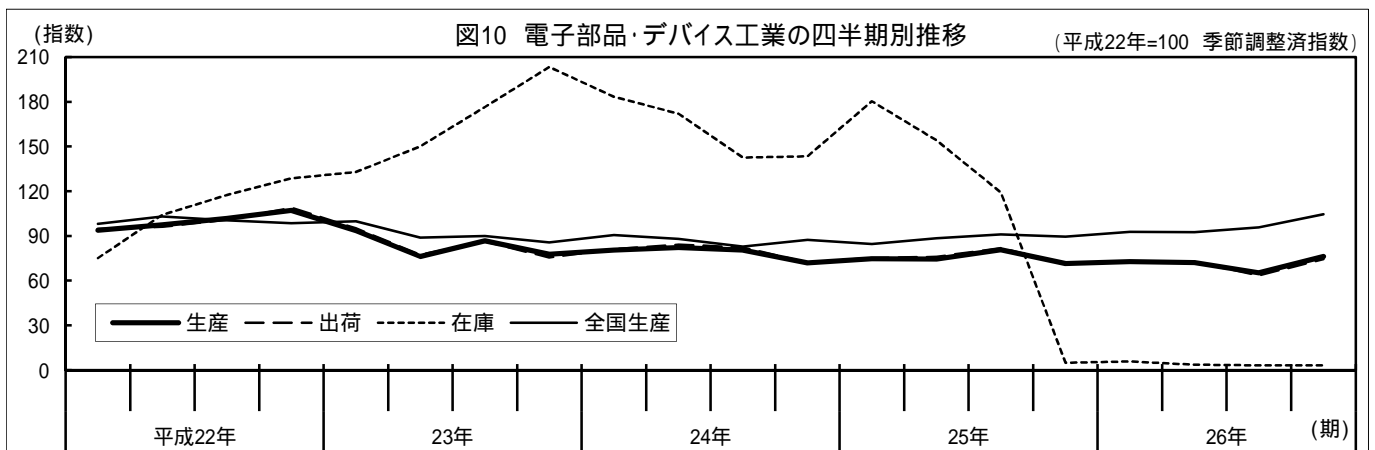
<在庫>

在庫指数(原指数)は、107.2で前年末比7.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、食缶や超硬チップなどが減少し、飲料用アルミ缶などが増加しました。

< 電子部品・デバイス工業 >

- 生産、出荷とも4年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、71.3で前年比5.6%低下し、4年連続して低下しました。

品目別にみると、コネクタや線形半導体集積回路などが減少し、モス型半導体集積回路(CCD)などが増加しました。

また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、96.5で前年比9.0%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、70.3で前年比7.7%低下し、4年連続して低下しました。

品目別にみると、線形半導体集積回路やコネクタなどが減少し、モス型半導体集積回路(CCD)などが増加しました。

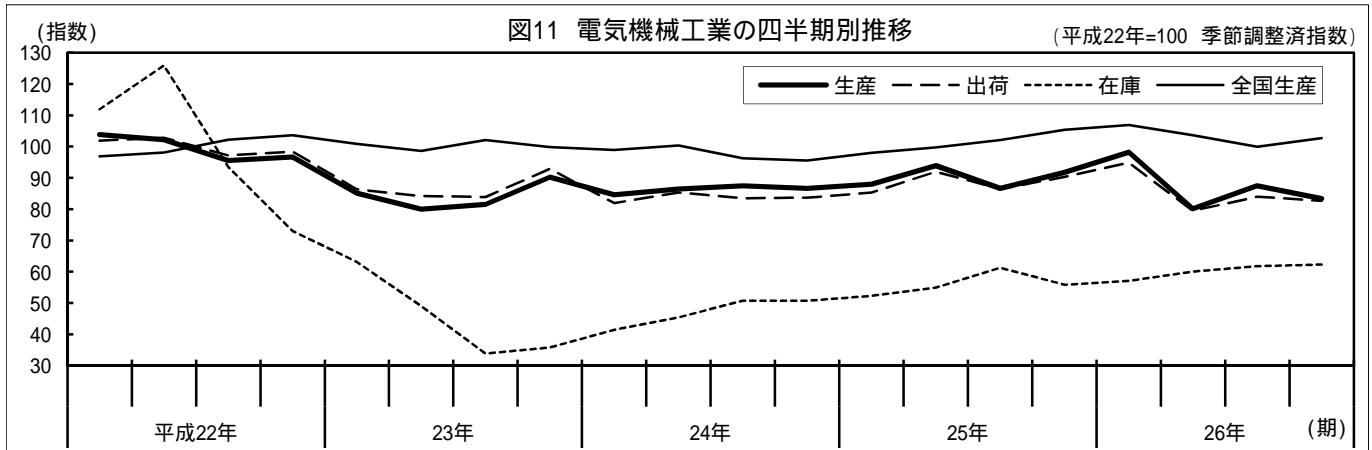
<在庫>

在庫指数(原指数)は、1.6で前年末比56.8%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)が減少しました。

< 電気機械工業 >

- 生産は3年ぶりの低下、出荷は2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、88.4で前年比1.3%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、非標準変圧器や自動車用照明器具などが減少し、避雷装置などが増加しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、103.2で前年比2.0%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

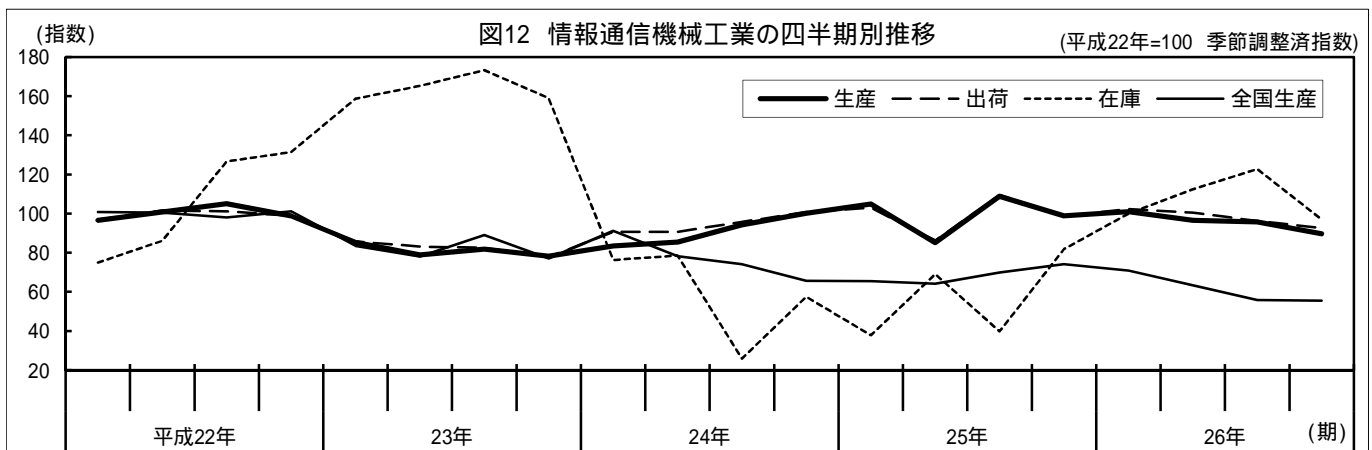
出荷指数(原指数)は、85.9で前年比2.6%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、非標準変圧器や自動車用照明器具などが減少し、避雷装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、63.5で前年末比9.3%上昇し、3年連続して上昇しました。
品目別にみると、自動車用照明器具や蛍光ランプなどが増加しました。

< 情報通信機械工業 >

- 生産、出荷とも3年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、97.3で前年比2.3%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、交換機やデジタル伝送装置などが減少し、無線応用装置などが増加しました。
また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、61.4で前年比10.5%低下し、4年連続して低下しました。

<出荷>

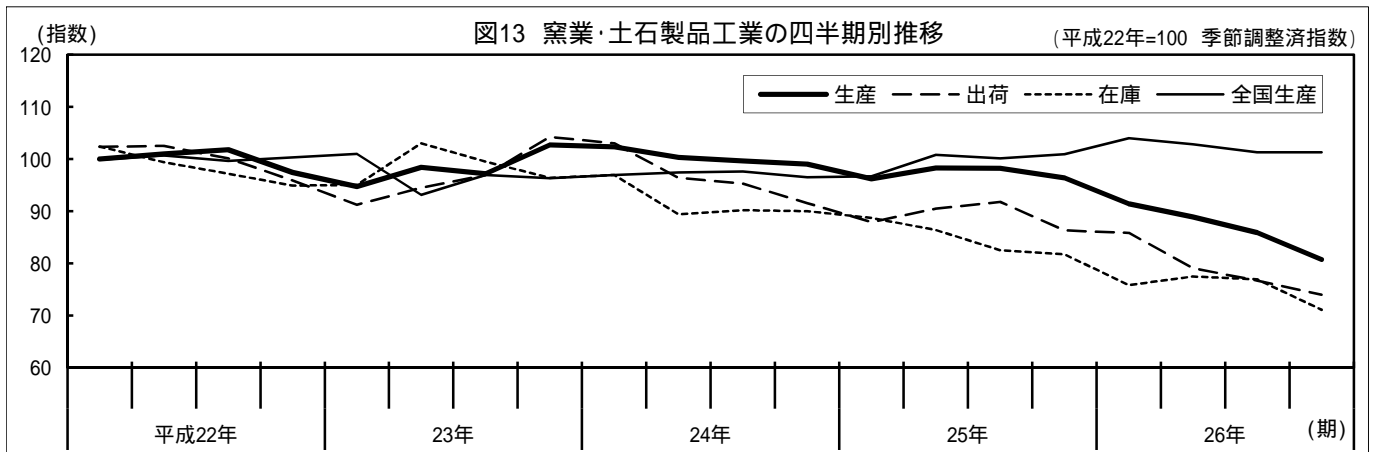
出荷指数(原指数)は、99.0で前年比0.5%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、交換機やデジタル伝送装置などが減少し、無線応用装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、117.3で前年末比7.5%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、パーソナルコンピュータやガス警報機が増加し、陸上移動通信装置が減少しました。

< 窯業・土石製品工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、86.5で前年比11.0%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、理化学・医学用ガラスやガラス基礎製品などが減少し、ガラス製容器類などが増加しました。
また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、102.3で前年比2.6%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

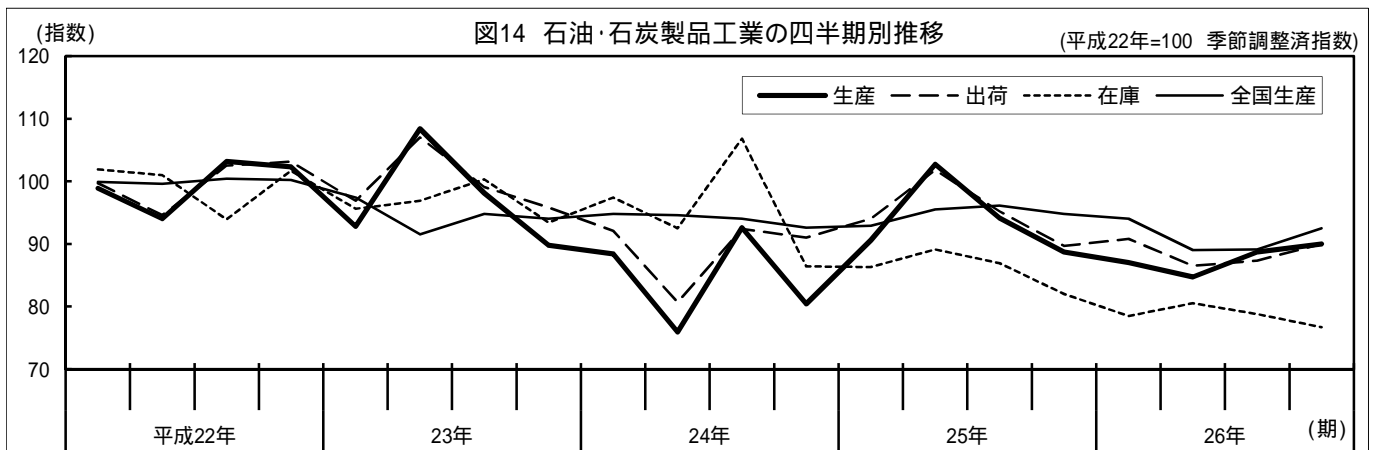
出荷指数(原指数)は、78.6で前年比11.9%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、ガラス基礎製品や生コンクリートなどが減少し、ガラス製容器類などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、70.0で前年末比12.5%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、ガラス基礎製品や道路用コンクリート製品などが減少し、ガラス製容器類などが増加しました。

< 石油・石炭製品工業 >

- 生産、出荷とも2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、87.7で前年比6.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ガソリンや軽油などが減少し、精製及び混合原料油などが増加しました。
また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、91.3で前年比3.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

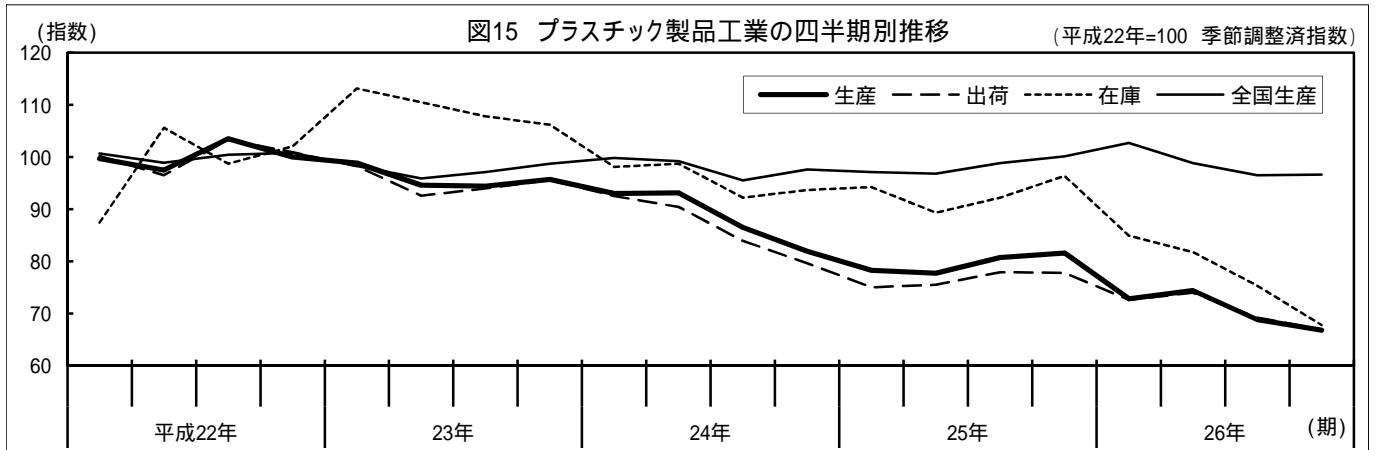
出荷指数(原指数)は、88.7で前年比6.6%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ガソリンやC重油などが減少し、ジェット燃料油などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、71.7で前年末比7.4%低下し、6年連続して低下しました。
品目別にみると、灯油や軽油などが減少し、C重油などが増加しました。

<プラスチック製品工業>

- 生産、出荷とも4年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、70.7で前年比11.2%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、プラスチック製フィルム・シートや日用品・雑貨プラスチック製品などが減少し、プラスチック製機械器具部品などが増加しました。
また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、98.6で前年比0.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

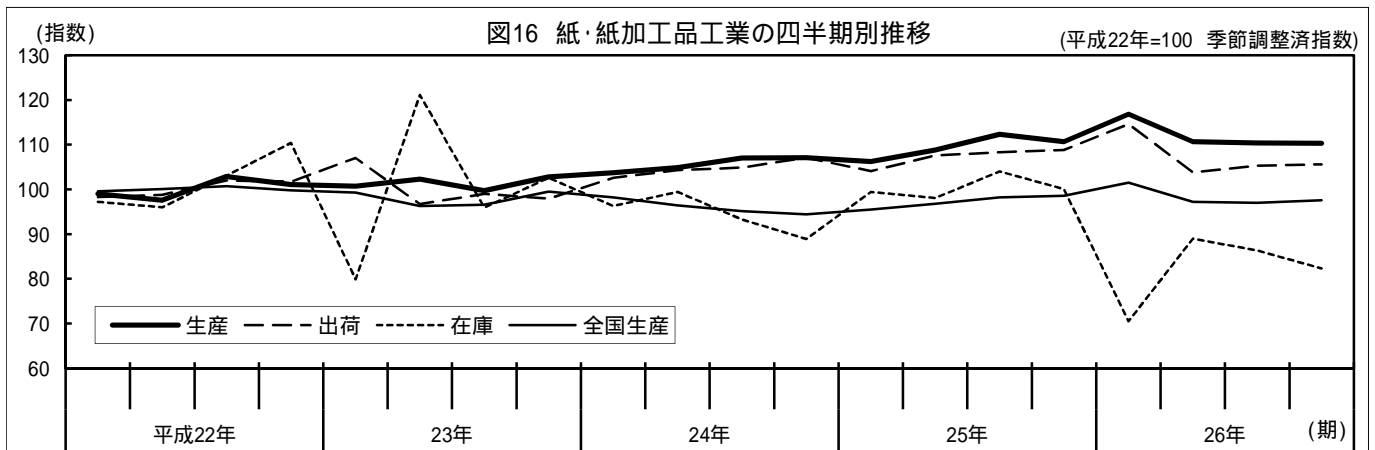
出荷指数(原指数)は、70.7で前年比7.7%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、プラスチック製フィルム・シートや日用品・雑貨プラスチック製品などが減少し、プラスチック製容器などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、68.4で前年末比28.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、プラスチック製容器やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、発泡プラスチック製品などが増加しました。

<紙・紙加工品工業>

- 生産は5年連続の上昇、出荷は3年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、112.0で前年比2.2%上昇し、5年連続して上昇しました。
品目別にみると、段ボールシートや衛生用紙が増加しました。
また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、98.2で前年比0.9%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

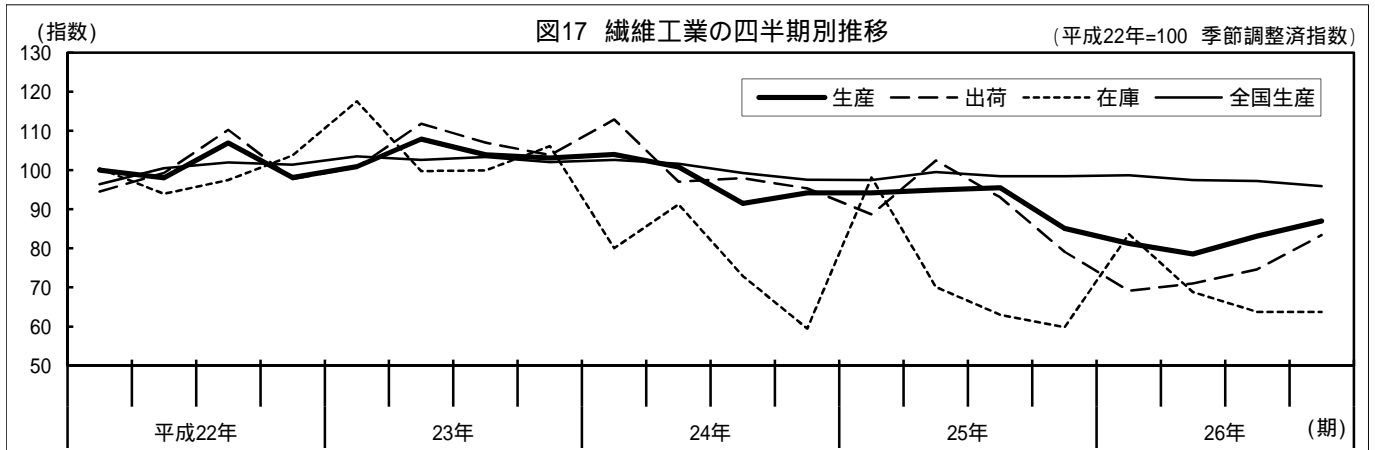
出荷指数(原指数)は、107.3で前年比0.2%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、段ボールシートが減少し、衛生用紙が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、71.0で前年末比17.4%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。

< 繊維工業 >

- 生産、出荷とも3年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、82.6で前年比10.2%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、合成繊維やふとんなどが減少しました。

また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、97.2で前年比1.2%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、75.0で前年比17.4%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、合成繊維やふとんなどが減少しました。

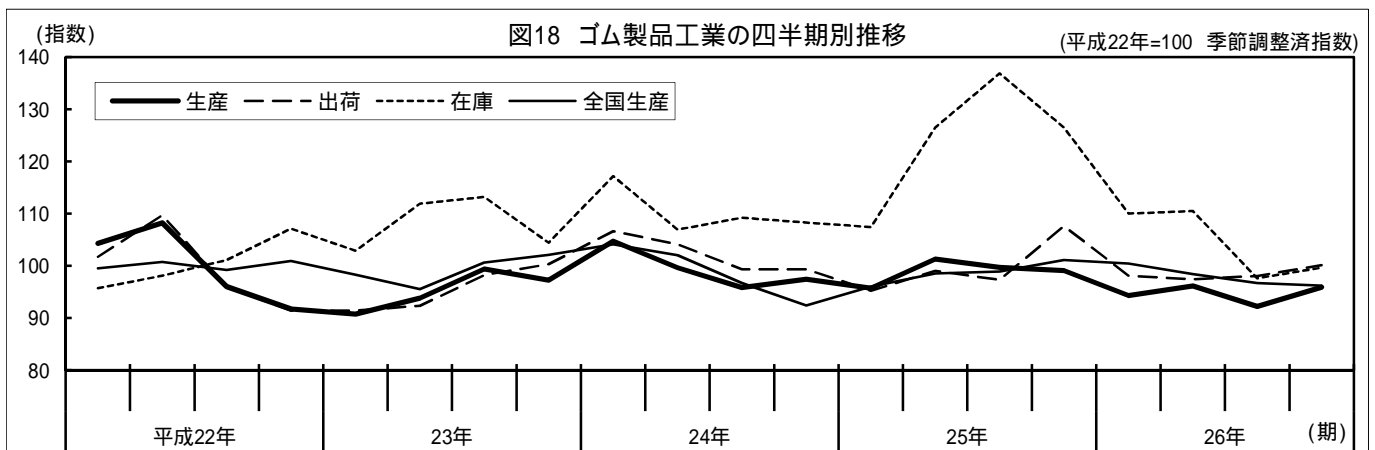
<在庫>

在庫指数(原指数)は、73.3で前年末比1.5%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、合成繊維やふとんが減少し、ニット・織物製外衣などが増加しました。

< ゴム製品工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、94.7で前年比4.3%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースなどが減少しました。

また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、97.8で前年比0.7%低下し、4年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、98.9で前年比1.2%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースが減少し、工業用ゴム製品が増加しました。

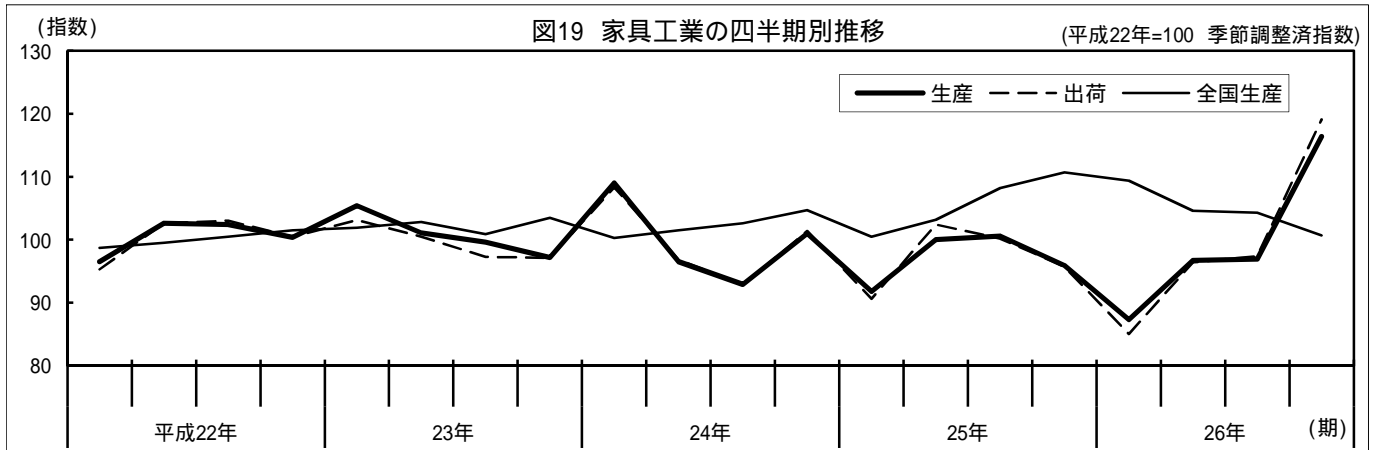
<在庫>

在庫指数(原指数)は、92.2で前年末比20.8%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、コンベヤベルトや工業用ゴム製品が減少し、ゴムホースが増加しました。

<家具工業>

- 生産は3年ぶりの上昇、出荷は2年ぶりの上昇 -



<生産>

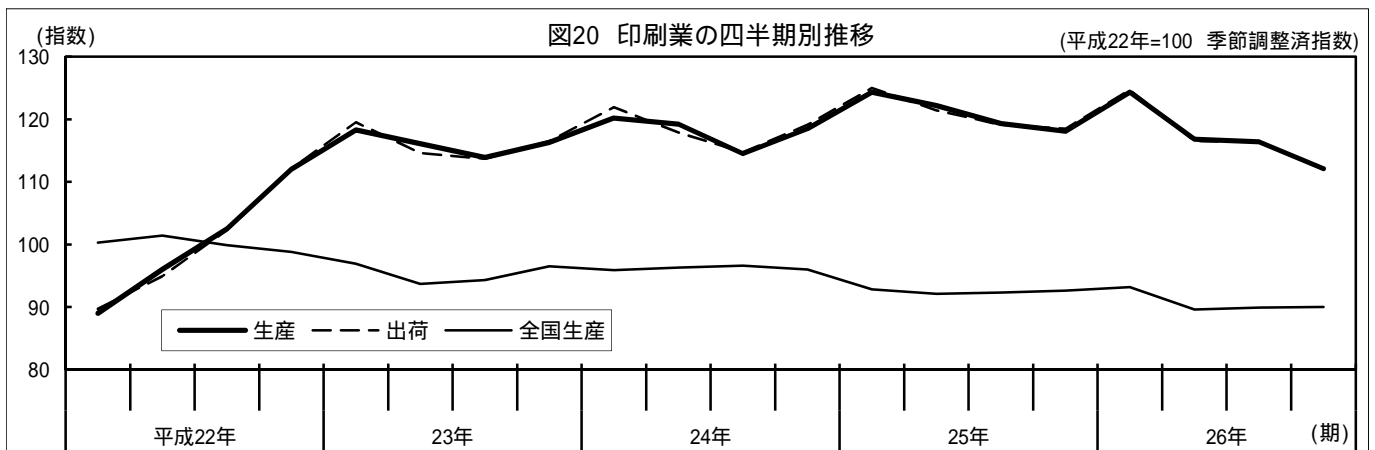
生産指数(原指数)は、99.0で前年比2.5%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、金属製いすやシステムキッチンなどが増加し、その他の金属製家具などが減少しました。
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、104.8で前年比0.8%低下し、5年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、98.8で前年比2.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、金属製いすやシステムキッチンなどが増加し、その他の金属製家具などが減少しました。

<印刷業>

- 生産、出荷とも4年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、117.3で前年比3.0%低下し、4年ぶりに低下しました。
品目別にみると、包装印刷や商業印刷などが減少し、建装材印刷などが増加しました。
また、全国の印刷業の生産指数(同)は、90.7で前年比1.8%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、117.3で前年比3.0%低下し、4年ぶりに低下しました。
品目別にみると、包装印刷や商業印刷などが減少し、建装材印刷などが増加しました。

3 財別の出荷動向

- 最終需要財は4年ぶりの上昇、生産財は4年連続の低下 -

平成26年の出荷動向を特殊分類による財別で見ると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、90.3で前年比0.3%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、85.3で前年比5.4%低下し、4年連続して低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財は 1期は前期比5.7%上昇、2期は同8.2%低下、3期も同0.7%低下、4期は同3.2%上昇しました。生産財は 1期は前期比1.9%上昇、2期は同7.5%低下、3期も同4.7%低下、4期は同3.7%上昇しました。

（1）最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、104.3で前年比5.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、半導体製造装置や普通トラックなどが増加し、ろ過・分離機器などが減少しました。

建設財出荷指数（原指数）は、97.5で前年比3.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、普通鋼鋼管や生コンクリートなどが減少し、換気扇などが増加しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

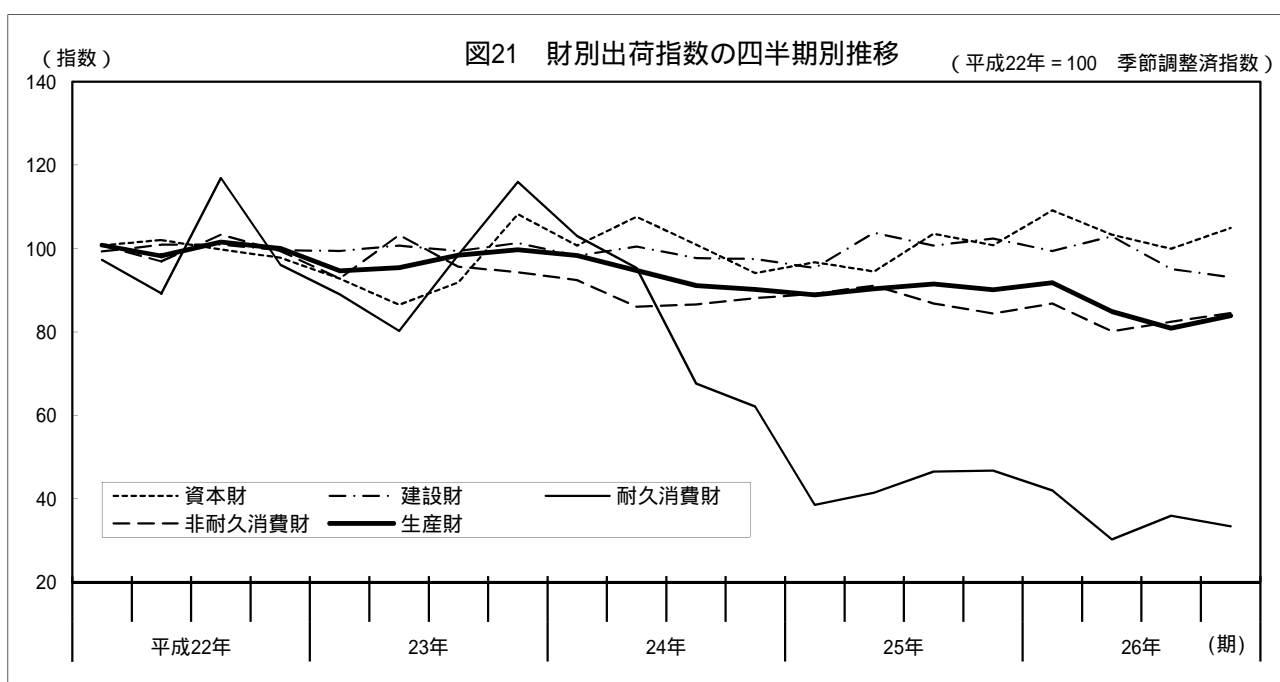
耐久消費財出荷指数（原指数）は、35.5で前年比18.2%低下し、4年連続して低下しました。品目別にみると、小型乗用車やパーソナルコンピュータなどが減少し、普通乗用車などが増加しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、83.4で前年比5.0%低下し、8年連続して低下しました。品目別にみると、ガソリンや炭酸飲料などが減少し、ビール・発泡酒などが増加しました。

（2）生産財

品目別にみると、エンジン（自動車用）やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、普通鋼鋼板などが増加しました。

（P19表9、表10参照）



（特殊分類についてはP83、P85表11参照）

表 9

財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成22年 = 100)

財	年・期	平成23年	24年	25年	26年	25年 26年				
						25年	26年			
製造工業	指数	96.0	94.5	90.1	87.7	90.3	93.8	86.4	84.1	86.7
	対前年(期)増減率%	4.0	1.6	4.7	2.7	1.7	3.9	7.9	2.7	3.1
最終需要財	指数	95.3	95.1	90.0	90.3	90.5	95.7	87.9	87.3	90.1
	対前年(期)増減率%	4.7	0.2	5.4	0.3	1.8	5.7	8.2	0.7	3.2
投資財	指数	95.0	101.3	99.0	103.4	101.0	108.0	103.1	99.2	103.3
	対前年(期)増減率%	5.0	6.6	2.3	4.4	2.0	6.9	4.5	3.8	4.1
資本財	指数	94.2	101.6	98.7	104.3	100.8	109.1	103.3	99.9	104.9
	対前年(期)増減率%	5.8	7.9	2.9	5.7	2.6	8.2	5.3	3.3	5.0
建設財	指数	99.9	98.8	100.5	97.5	102.4	99.4	102.9	95.1	93.1
	対前年(期)増減率%	0.1	1.1	1.7	3.0	1.7	2.9	3.5	7.6	2.1
消費財	指数	95.8	87.2	78.4	73.3	76.5	77.2	69.7	72.8	73.8
	対前年(期)増減率%	4.2	9.0	10.1	6.5	3.0	0.9	9.7	4.4	1.4
耐久消費財	指数	94.6	82.3	43.4	35.5	46.7	42.0	30.2	35.9	33.4
	対前年(期)増減率%	5.4	13.0	47.3	18.2	0.4	10.1	28.1	18.9	7.0
非耐久消費財	指数	96.1	88.5	87.8	83.4	84.4	86.8	80.1	82.4	84.5
	対前年(期)増減率%	3.9	7.9	0.8	5.0	2.8	2.8	7.7	2.9	2.5
生産財	指数	96.6	93.8	90.2	85.3	90.1	91.8	84.9	80.9	83.9
	対前年(期)増減率%	3.4	2.9	3.8	5.4	1.5	1.9	7.5	4.7	3.7

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10

財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目	
			増	減
上昇 資本財	5.7	1.49	増	半導体製造装置、普通トラック、無線応用装置など
			減	ろ過・分離機器、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など
生産財	5.4	2.78	増	普通鋼鋼板、懸架制動装置部品など
			減	エンジン(自動車用)、プラスチック製フィルム・シート、蒸気タービン部品など
低下 非耐久消費財	5.0	0.82	増	ビール・発泡酒、肉製品など
			減	ガソリン、炭酸飲料、化粧品など
低下 耐久消費財	18.2	0.39	増	普通乗用車、除湿機
			減	小型乗用車、パーソナルコンピュータ、ふとんなど
建設財	3.0	0.12	増	換気扇、プラスチック製板など
			減	普通鋼鋼管、生コンクリート、ガス機器など

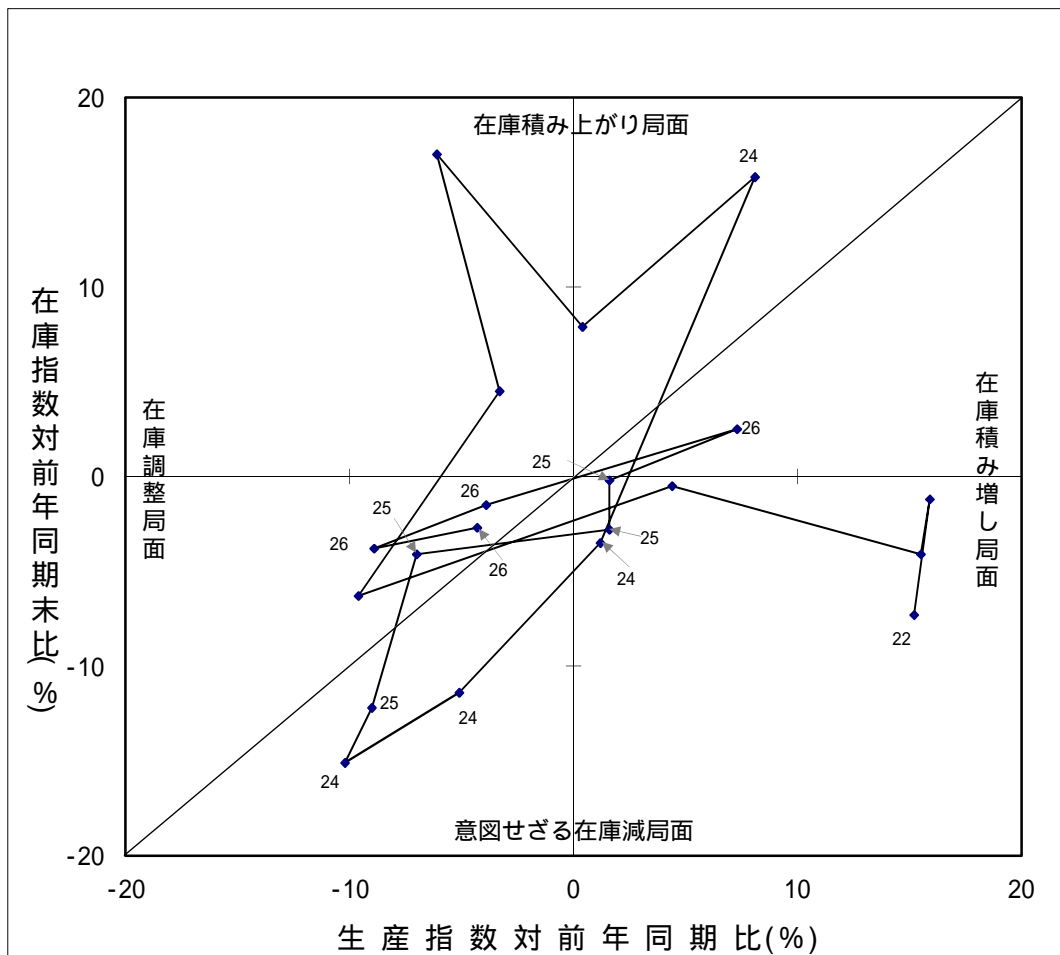
<参考> 在庫循環図

平成26年 期の生産指数(原指数)は前年同期比7.3%上昇し、在庫指数(同)は前年同期末比2.5%上昇しました。 期の生産指数(同)は前年同期比3.9%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比1.5%低下しました。 期の生産指数(同)は前年同期比8.9%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比3.8%低下しました。 期の生産指数(同)は前年同期比4.3%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比2.7%低下しました。

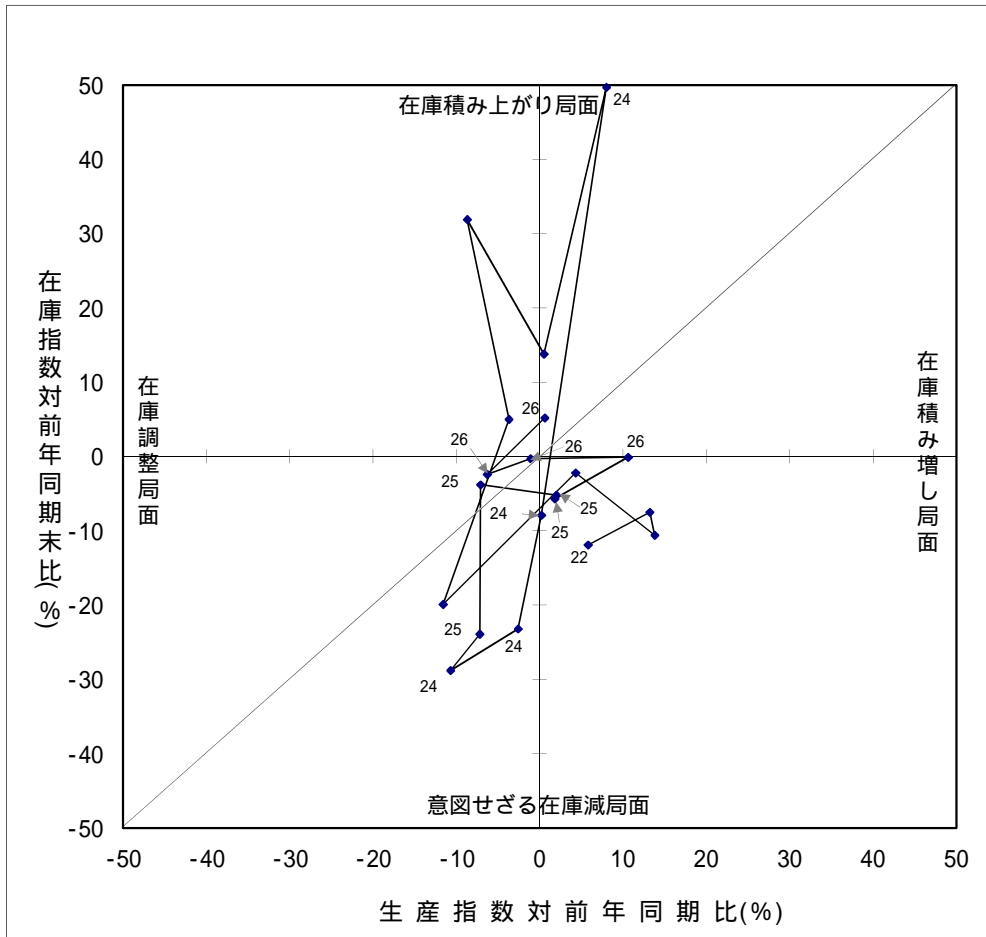
在庫循環図の見方(生産と在庫について、以下のような循環が見られる場合が多い。)

- 意図せざる在庫減局面：需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面：生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面：需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面：生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

製造工業



最終需要財



生産財

